



News Release

平成 31 年 3 月 25 日
株式会社日本政策投資銀行

いわて飛躍応援投資事業有限責任組合による セルスペクト（株）への劣後融資の実施について

～岩手銀行・日本政策金融公庫と協調し岩手県における医療機器産業の育成を支援～

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：渡辺一、以下「DBJ」という。）および株式会社岩手銀行（代表取締役頭取：田口幸雄、以下「岩手銀行」という。）が共同出資する「いわて飛躍応援投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」という。）は、セルスペクト株式会社（本社：岩手県盛岡市、代表取締役：岩渕拓也、以下「当社」という。）に対して融資を実施しました。

当ファンドは、平成 30 年 9 月に DBJ と岩手銀行にて、地域の持続的な経済発展に向けた成長資金等を供給することを目的として設立されました。

当社は、岩手県が「自動車」・「半導体」に次ぐものづくり産業の第 3 の柱として位置付ける「医療機器」産業において、革新的な医療機器を開発している企業です。設立以来、次世代型医療診断アイテムに求められる「小型化」「低侵襲化」「医療の個別化」に着目し研究を継続してきました。当社が開発した、遠心フリーの血液成分分離キットと小型分析装置は、ヘルスケア分野において近年注目されている POCT（Point of Care Testing；手軽にかつ迅速に行える臨床検査）の実装を可能とするものであり、大手製薬会社や保険会社、自治体等から多数の引き合いがきています。

本件は、当社に対して、岩手銀行および日本政策金融公庫と総額 12 億円の協調融資を実施し、当社の事業化に向けた成長資金を供給することで、岩手から世界へ先進的な医療機器を展開し、人々の健康増進および医療の高度化・被検者の QOL 向上を支援するものです。なお、当社への劣後融資にあたり当ファンドに対する DBJ の出資については、地域経済の活性化や企業の競争力強化に資する成長資金を集中的に供給するものとして、「特定投資業務」（注）を活用します。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、今後とも地域経済の活性化、競争力強化に向けた地域のお客様の取り組みを積極的にサポートしてまいります。

（注）「特定投資業務」とは、民間による成長資金の供給の促進を図るため、国からの一部出資（産投出資）を活用し、企業の競争力強化や地域活性化の観点から、成長資金の供給を時限的・集中的に実施することを企図して設けられたものです。

【お問い合わせ先】

東北支店 業務第一課ファンド業務グループ 電話番号 022-227-8183

News Release

【当ファンドの概要】

- (1) 名称 : いわて飛躍応援投資事業有限責任組合
- (2) 規模 : 30億円
- (3) 設立 : 平成30年9月14日
- (4) 出資者 : 無限責任組合員 (GP) : DBJ地域投資 (株)
有限責任組合員 (LP) : DBJ、岩手銀行
- (5) 期間 : 投資期間5年間、存続期間12年間

【当ファンドのスキーム図】

